

第38号 2019年3月

花もよろび

熱田鯨城会たより

目次

✚ 巻頭言	3
✚ 鯨城会HPのリニューアル	4
✚ 趣味の作品展（熱田生涯学習まつり）	5～10
✚ こころの絆創膏	11
鶴舞クリーンキャンペーン	
✚ 名古屋競馬場見学会	12
✚ 熱田区区民まつり	13
✚ 鯨城会クラウドゴルフ交歓会	14
✚ あったかあつた福祉フェスタ	15
福祉団体へ雑巾・タオルなどを寄贈	
✚ 堀川清掃	16
✚ 愛岐トンネル	17
✚ 第2回地域ミーティング	18
✚ 徳川美術館・徳川園	19
✚ 大宝クリーンキャンペーン&区会説明会	20
✚ 新年懇親会&ポッチャ交流会	21
✚ かなえた夢一華甲を過ぎてのチャレンジ	22～23
✚ 同好会たより(健康麻雀)・(ハイキング)・(ゴルフ)	24
✚ 同好会たより(歌声会)・(グラウンドゴルフ)・(M&L)	25
✚ 編集後記	26

表紙

白鳥公園



平成31年1月 賀城園にて新年懇親会

熱田鯨城会会長 (29期生活A) 玉利繼男



私が熱田鯨城会の会長に就任して、間もなく1年が経とうとしております。

この時期に今、私が思っていること、心に感じていることを、少し述べてみようと思

います。

そもそも私にとっては、平成30年度は人生の終盤における大変重要で意味のある1年のはずでした。

区鯨城会をはじめ、生涯学習・教育の仲間である県シルバー同窓会、長年培ってきた趣味の同好会(愛好会)、サークル活動並びに高校の同窓会等の幾つかの組織・グループについて、各々において諸役(大役)を担うという節目の年でした。

これを問題なくスムーズに無難に取り組んで行くには、可能な限り事前に余裕を以て計画を立て、その後は合理的に協議決断して取り組んで行くしかないのかなと思っておりました。

ところが、スタートしてから二、三ヶ月後は順調に推移しておりましたが、この思いは短期間で軌道修正を図る必要が生じました。

それは本当に予想だにできなかった昨年の夏前頃からの、我が身におとずれた体調不良の出現でした。その思いがけない兆候は突如生じた全身の脱力感、関節の痛み、頭痛でした。

この症状は最終的には諸々のストレスの産物であり、肩をはずらず気持を楽にして「成るように成れ」という開き直りにより、徐々に改善して参るのですが、その期間において強く感じたことは次のようなことでした。

区鯨城会の主たる活動として、各種のボランティア活動への積極的な実践があります。熱田鯨城会でも長年、「なごやかハウス横田」への活動をはじめ、沢山の会員の皆さんが真摯で根気のあるボランティア活動に汗を流して取り組んでいらっしやいます。

鯨城会会員並びに鯨城学園生、町内会や同好会の仲間の皆さんにもボランティア活動への参加を呼びかけている私でしたが、その際に返ってくる返事の1例として、「現在、ボランティア活動をする時間が無いし、気持の余裕もない」ということがあります。

然しながら、地域に根ざしたボランティア活動に取り組むには、自分を取り巻く全ての条件、環境が整ったという出来る時期の到来をいたずらに待つのではなく、「ちょっとでも興味と関心を持った段階で先ず行動を開始し、今だったら何をする自分が自分に可能かを考えて、少しでも出来る範囲から参加・行動することが必要です。つまりボランティアに参加する人には個々に協力度合いに、程度の差があつて当然だと思
います。」

また、熱田区内での活動・交流は勿論ですが他区鯨城会でも同様の問題を抱え悩んでいると思われるので、今後は他区との交流を深め熱田区で応用し活用出来るものは取り入れ、更に鯨城会本来の地域の活性化と生きがいつくりへの活動推進を図る必要性を痛感した1年でした。



鯨城会ホームページがリニューアルされました

鯨城会のホームページ（HP）については、原稿のアップ方法や掲示板の運用などで問題があり、昨年8月から鯨城会において新ホームページの開設準備を進めてきましたが、2019年2月から全面リニューアルされました。

これに伴い、そのサイト内に設けられていた区鯨城会のサイトも一新され、従来、各区鯨城会で運用していた毎月の行事予定や掲示板は廃止され、各区鯨城会の連絡事項や情報交換は、区鯨城会の「お知らせ」や「スケジュール」にタイトル掲載し、これをクリックすれば、その詳細がPDF版で閲覧できる方式となりました。

鯨城会新HPへのアクセス

鯨城会新HPのアドレスは変更ありません。（「鯨城会」で検索してアクセスしてください。）

熱田鯨城会サイトへのアクセスは、鯨城会HP右欄の各区鯨城会へのリンクボタンから熱田鯨城会を選択してクリックして下さい。

区鯨城会の「お知らせ」への投稿方法

原稿を区鯨城会HP担当者に提出し、各区HP担当者が電子データ（詳細部分はPDF版）にして鯨城会HP担当者に送信し、これを月2回（原則第1月曜と第3月曜）集約して委託業者に送信し、HPにアップする方式となりました。

各区HP担当者名は、各区鯨城会サイトの区会の概要に掲載されています

※原稿の投稿とともに、新HPについてのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

（編集部）

<熱田鯨城会サイト>

The screenshot shows the website for Natsuta Kikyo Kai. At the top, there is a header with the organization's name and contact information. Below the header is a navigation menu with various links. A callout bubble labeled 'お知らせ' (Notice) points to the 'お知らせ' link in the menu. Another callout bubble labeled 'スケジュール' (Schedule) points to the 'スケジュール' link. A third callout bubble labeled '区会の概要' (Summary of the District Meeting) points to the '概要' (Summary) link. A fourth callout bubble labeled '熱田鯨城会へのリンクボタン' (Link button to Natsuta Kikyo Kai) points to the '熱田鯨城会' link in the right-hand sidebar. A fifth callout bubble labeled '各区HP担当者' (District HP Manager) points to the '各区HP担当者' link in the sidebar. A sixth callout bubble labeled '会報へのリンクボタン' (Link button to the Newsletter) points to the '会報' (Newsletter) link in the sidebar. The main content area shows a list of notices and a schedule.

第34回熱田生涯学習まつり (H30/11/3~4)

趣味の作品展

熱田鯨城会 会員(敬称略・順不同)



大須観音にて [阿]・咩
20期 環境



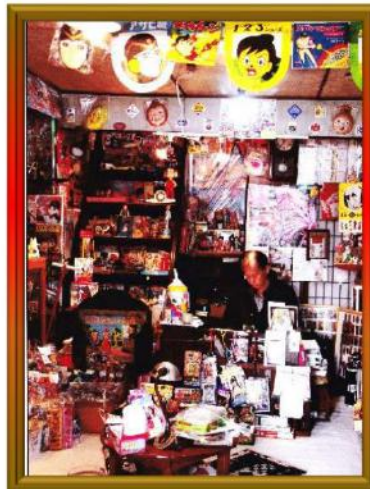
大須観音にて 阿・「咩」
服部 繁一



郷愁の街 1
24期 文化B 藤堂 真司人



郷愁の街 2
24期 文化B 藤堂 真司人



郷愁の街 3
24期 文化B 藤堂 真司人



秋深く 1
29期 園芸 伊藤 正



彩る夏
29期 生活A



指冴える魔術師
玉利 繼男



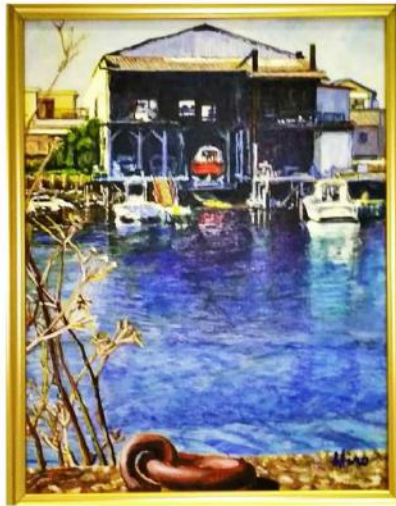
秋深く 2
29期 園芸 伊藤 正



アオザイの人

24期 美術

竹内 宏之



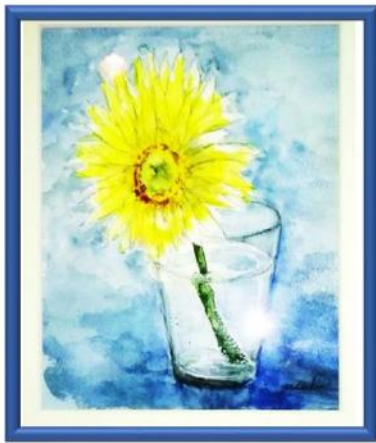
堀川の景18

竹内 宏之



レモンとトマト

24期 地域 柴田 泰子



ガーベラ 1

24期 地域



ガーベラ 2

柴田 泰子



山里(滝)

18期 文化B 小島 一之



菓 物

29期 文化B



のう ぜんか つら
凌霄花
甲斐 明美



夏景色山水図

18期 文化B 小島 一之



安曇野
25期



夜桜
陶芸利根光子



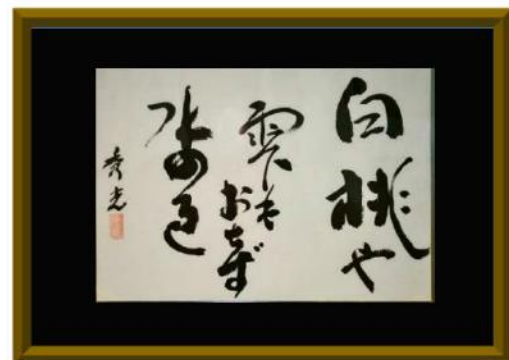
五言句
24期 陶芸 後藤 秀光



花(貼り絵)
31期 文化A 岡山 登美枝



花(貼り絵)
29期 福祉A 中村 美知子



俳句
24期 陶芸 後藤 秀光



芳樹鳥聲頻(楷書)

29期 生活A 小池 妙子



芳樹鳥聲頻(草書)





茶碗 皿(大小)
25期 陶芸 利根光子



壺
31期 陶芸 九澤康雄



花瓶
25期 陶芸 利根光子



花器
28期 陶芸



抹茶茶碗
松浦啓一



はらぺこあおむし
31期 陶芸 梶原典子



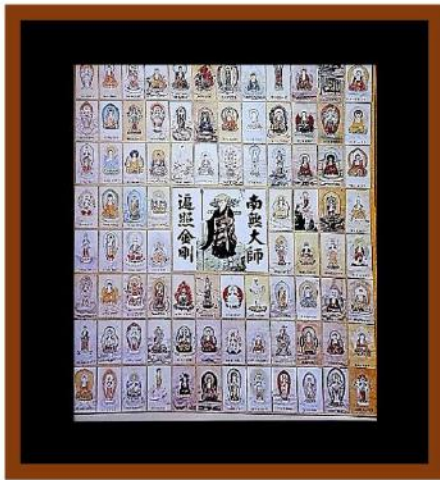
一輪挿し



シフォンケーキ
29期 生活A 小池 妙子



大 皿
26期 国 際 佐々野富美子



四国八十八箇所御本尊

28期 地 域



納 礼

伊串 利彦



勸進帳
17期 文化A 山口 登志



八角兜朱色鍔
30期 文化A 山本 進太郎



暗れ着リメイク(バック)
26期 国際 佐々野富美子



着物リメイク
25期 生活B 小山田 節子



こころの絆創膏キャンペーン

9月10日(月)午前8時00分、中村さん、下木さん、村瀬さん、山本(進)さん、梶原さん、森つた子さん、池松さん、和谷の8人が元気に金山総合駅に参集しました。

きょうの活動は名古屋市健康福祉局の依頼で、自殺と深い関係があるとされるうつ病や不眠等について、自殺者数の半数近くを占める中高年男子等を対象とした啓発を目的とした活動です。

天気もまずまずで40~50分で、予定の携帯用の絆創膏「こころの絆創膏」100枚を出勤中や通学中の人達に手渡しました。

終了後、北口の喫茶店でボリュームがあり大変お値打ちなモーニングをしながら1時間ほど雑談等をし解散しました。



その翌日はびっくりニュースが入りました。

梶原さんが前日の夕方の東海TVとメーテレのキャンペーンのニュースに出ていたので、近所の3~4人の方から“大変だったわね、ご苦労さん、頑張っているわね”と声がかかったようです。思わぬことがあるものです。熱田鯨城会の活動も捨てたものではないですね。

総務 和谷 光大



鶴舞公園クリーンキャンペーン

台風25号の余波を受けて時折小雨がパラつくなか、10月6日(土)、今年も鯨城会主催の鶴舞公園クリーンキャンペーンが開催され、熱田鯨城会からは在校生3名を含めて22名が参加しました。

公園内には各区鯨城会の黄色いのぼり旗が林立し、数百名近い人が公園内の清掃に取り組みました。

熱田鯨城会の担当区域には、今を盛りと楚々として咲く酔芙蓉や、学園30周年記念行事として3年前に植樹したヤブツバキの植込みがあり、その風情も楽しむことができました。

折からの小雨で清掃活動は早めに切り上げ、金山に場所を移してランチを楽しみながら親交を深めました。

編集部





宮中学区担当行事

(名古屋競馬場見学会は、如何でしたか?)

27期 健康 下木要人

宮中学区行事をどこにするか.....

皆様に楽しんで頂ける場所が中々考えられず、前に進めない日々が続きました。或る幹事の「名古屋競馬場」は?の一言で決まってしまいました。

多分女性陣は、初めての人が多いだろう! 男性陣でも特別観覧席の経験は、そうはないだろう! これは、以外にヒット!!!

案の定、取り纏め中に一時 34 人の希望者が.....



9月28日(金)天気にも恵まれ29名(男性16人・女性13人)の仲間が参加されました。愛知県競馬組合広報担当の方より、地方競馬のあらまし、馬券の種類、馬券の買い方(マークシート方式のチェックの仕方)について、丁寧な説明を頂いた後、場所を特別観覧席に移り、1レースより実践です。

冷暖房完備の明るい部屋のゆったりした机と椅子に座りながらレースを観賞が出来、一喜一憂の快適な時間を過ごすことが出来ました。

皆様には、この場所での自由解散としましたが、大部分の方は、昼頃まで楽しんでいただきました。

14時頃まで勝負した強者もいましたが、その後名古屋競馬場に入り浸りの人が居るとは聞いておりませんので、それなりに楽しんでもらったのかと喜んでいきます。



「熱田区区民まつり」のボランティアに参加して



10月14日(日)、雨上りの快晴のもと今年も白鳥公園において「にぎわい秋まつり」と題し、「平成30年度熱田区区民まつり」が盛大に実施されました。

会場は本部ステージでのチアダンス、和太鼓・吹奏楽演奏、大声コンテストをはじめ、「にぎやかゾーン～街道宿場市」、「キッズゾーン～お獅子のお宿」、「働く車ゾーン～お絵かきバス、土木事務所職場体験等」に分かれ、子供連れの家族を中心に一日中、たくさんの来場者でにぎわいました。



熱田鯉城会は会場内に設けられた唯一の「ごみステーション」における、ごみ分別の案内、整理のお手伝いで、午前5名、午後6名(総勢11名)が参加し、大変に気持ちの良い汗をかかせて頂きました。

今年は以前に比べて「ごみステーション」に持込まれるごみは、大体においてきちっと分別投入が守られているように感じました。

但し、一部の投入者において可燃ごみとプラスチック容器の分別が、曖昧になっているように思われました。

全体としては子供を中心にごみの分別が、かなり徹底されている印象がありました。然しながら「ごみステーション」へのごみ持込み以外に、

会場内の通路、植込み等の中に意識的にごみを投げ捨てる事実も散見できたのは、今後の改善すべき課題と言えましょう。

何れにしても、午前から昼食をはさんで午後へと時間の経過とともに、持込まれるごみの投入量も増大した秋の一日でした。



第17回 鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会の報告

熱田鯨城会GG同好会 櫻井

第17回鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会が、10月23日(火)秋晴れに恵まれ絶好のグラウンドコンディションの下、庄内緑地・陸上競技場で行われました。

今年の交歓会は、従来の個人戦を行い、新たに区対抗戦が取り入れられました。交歓会参加者は約220名が4ゾーンに分かれて競技を行いました。

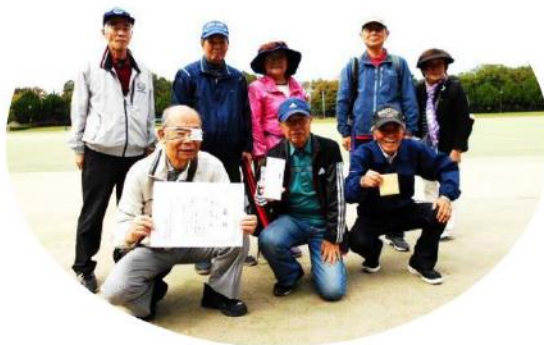
当GG同好会からは7名が参加し、日頃の練習成果を発揮すべく、プレーしました結果、Bゾーンで鬼頭宏弐さんが2位となり表彰を受けました。

また16区対抗戦では参加者のロースコア3人の合計数より3位となり表彰を受けました。

アトラクションとして区会長によるニアピンゲームが行われました。

GG交歓会終了後金山に場所を移し反省会を兼ねて親睦会を開催し、プレーで良かった点失敗した点など話題にして楽しい時間を過ごした。

すでに第18回交歓会の予定が入っており、熱田鯨城会GG同好会では会員の募集をしています。連絡先櫻井健Tel052-671-2782まで連絡下さい。



あったかあつた福祉フェスタ

秋晴れの10月28日(日)、熱田区役所のある複合施設で「あったかあつた福祉フェスタ2018」が開催され、熱田鯨城会も20名の会員が例年同様、会場の一角に「土鈴・絵馬づくり体験コーナー」を設けて準備したところ、用意した土鈴38個、絵馬30個が昼過ぎにはなくなってしまうという盛況ぶりでした。



このフェスタ、「気軽に福祉にふれよう！」とのスローガンのもと、熱田社会福祉協議会が毎年開催しているもので、今年で30回目を迎えたことです。(昨年は解散・総選挙の投票日と重なったため中止)

今年も熱田鯨城会など28団体が40近くの体験コーナーや模擬店を設け、千数百名の区民がフェスタを楽しみました

編集部



福祉団体へ雑巾・タオルなどを寄贈

12月12日(水)、熱田鯨城会役員4名が以下の福祉団体を訪問し、本年も会員の皆さんからお預かりした雑巾・タオル、寄付金や土鈴・絵馬の売上金を寄贈しました。

「熱田区社会福祉協議会」の名内事務局長には雑巾47枚、タオル68枚と11月の熱田生涯学習まつりでの土鈴・絵馬の売上金や寄付金の2万円を、また、「なごやかハウス横田」の横井施設長には雑巾47枚、タオル69枚をお渡ししましたが、共に毎年の寄贈に大変喜ばれ、ありがたく利用させていただきますと感謝されました。

会員の皆様のご厚意に厚くお礼申し上げます。

編集部



第7回堀川清掃大作戦

前日の雨も上がり、今年は降水確率を心配せず、第7回堀川清掃大作戦が11月10日(土)強風の中、快晴に恵まれ行われました。

「堀川と生活を考える会」を中心に「各区鯨城会」「学生会」合同の参加でした。堀川最上流部の庄内川元杖樋門から最下流の港新橋付近と堀川全域、新堀川一部を11拠点に分かれました。

31期 地域B 九澤まち子



熱田鯨城会は、昨年と同じ第6拠点の2班として白鳥橋から大瀬子橋を分担しました。

景色を観ながら、通行人の邪魔にならない様にゴミを拾いながら歩きました。

皆さん、普段からゴミに対しての意識が高く拾うゴミが少なくて「残念?」と思いながらも、良い方向に進んでいるなど実感し、作業を無事終えることが出来ました。



「愛岐トンネル群散策」に参加して

31期 陶芸 九澤康雄



普段は立ち入り禁止区域になっている「旧国鉄中央線 愛岐トンネル群」が期間限定で春と秋に一般公開されます。

庄内川溪谷に沿って 1900(明治 33)年の開通当時のまま残された赤レンガのトンネル群です。秋の一般公開は 11月 23日 からです。11月 16日に事前公開で熱田鯨城会の皆さんと行ってきました。

鯨城学園在学中に共通講座で愛岐トンネル群について受講したのですが内容は忘れていました。この機会に「百聞は一見に如かず」と、最近弱ってきた足腰を鍛えるためにも歩いて来ました。



J R 中央線の定光寺駅に 10時に集合しました。名古屋から 30分ほど電車に乗れば豊かな自然

に出会えます。朝は少し曇っていましたが散策が始まる頃には晴れてよい一日になりました。

紅葉にはまだ 1週間ほど早かったようですが、見上げたもみじが日に映えてきれいでした。NPO 法人 愛岐トンネル群保存再生委員会の山本さんに散策のガイドをして頂きました。トンネルは 1号から 14号までありますが、見学できるのは 3号から 6号です。

中央線名古屋・多治見間の工事で 1890万個の赤レンガが使用されたそうですが、大量の赤レンガを供給するのに足りないため愛知県監獄でも囚人たちが赤レンガを焼いたそうです。



足元は廃線路の小石がゴロゴロあり足裏が靴を通してコツコツとよろけそうになりますが、それも心地よく感じました。トンネルを繋ぐ線路跡の道が自然と溪谷の秋に囲まれ脇道にも入りたくなるような衝動に駆られます。

トンネルの中はひんやりしていましたが寒いという体感はありません。誘導ライトは暗く懐中電灯で足元を照らしながらゆっくりと歩きました。



散策も終わると、なんといっても楽しみは昼食です。

皆で食べたお弁当は子供のころに返ったように皆さんうまそうに食べていました。一般公開中は無料のコンサートが開催されるそうです。

森の中で演奏を聴きながら食事するのも楽しそうです。帰りの山道から 1匹の鯉が川の流にゆらゆらと泳いでいるのを見たり、小動物や昆虫が森に沢山生息していることも知り秋の自然を感じてきました。ガイドの山本さんから夏には 7月と 8月の土日のみ森のビアホールが開催されることを聞きました。入場料は 200円でおつまみは枝豆やサボヤという串がいただけるそうです。

夏のトンネルのビアホールに、ちょっと涼みに行ってみたいなと思いました。



第2回地域ミーティング（33期生対象）



11月28日(水)午後1時30分から鯨城学園8階第3講義室にて開催されました。ミーティングは33期生(学園1年生)9名のうち6名が参加いたしました。熱田区社会福祉協議会の飯田直美さん、熱田区担当学務主任の坂井秀輝先生並びに熱田鯨城会役員が出席し、挨拶をさせていただきました。

1年生の学園生にとっては、今年2回目の地域ミーティングのため、前回の地域ミーティングで細かく触れることが出来なかった、熱田鯨城会の企画行事内容、ボランティア活動実績、同好会の内容について、鯨城会より話をさせていただきました。

その後にグループディスカッションに移り、「区鯨城会と区社会福祉協議会の活動を理解し、卒業後の地域活動にどうつなげるか」をテーマにて、意見交換をいたしました。

☆ その話し合いの中で33期生から出された意見としては

- ① 現在のクラス活動、クラブ活動並びに学園行事に参加するだけでも大変であり、他の事柄について取り組んでいく余裕がない。
- ② 学園生活に加えて、家族の介護生活を担っており心身共に時間がないが、今後少しでも可能であれば出来る範囲内でボランティア活動、地域活動に取り組みたい。
- ③ 区民まつりにもボランティアとして任意参加した経験がある。また海外生活の経験を活かして在日外国人に対する多文化共生活動には興味がある。
- ④ 国際会議場での荷物運びボランティアに従事した経験があり、外国人との新しいコミュニケーションづくりの方法を考えていきたい。
- ⑤ 熱田区が他の区と協力しあってボランティア活動の輪を広げることが大切。熱田区内においても、いろんなボランティア活動、地域活動が求められる事柄が多いと思うので、常にアンテナを張りめぐらして、すばやく感知し反応する意欲が必要。
- ⑥ 熱田鯨城会の連絡窓口(固定電話)を常に固定化し、気軽に情報提供を受け入れることも必要ではないか。

との意見がでました。

地域ミーティングの最後に、坂井先生より「学園生活をしっかりと気力を充実して取り組み楽しむとともに、卒業後の地域活動の重要性を認識して欲しい」との話がありました。

社協の飯田さんからは、「現在、大きなうねりとして効果があらわれているボッチャ競技を通して、学園生の方が区鯨城会、区社協と楽しみながらコミュニケーションを形成するためにも、2月のボッチャ交流会に積極的に参加して欲しいとの発言がありました。



編集部

徳川美術館&徳川園



平成30年12月12日(水)、日比野中学校区行事で、徳川美術館と徳川園に行ってきました。

当日、心配した雨も上がり、穏やかな小春日和となりました。暮れの慌ただしい時期でもあり、参加者16名でした。



知り合いの徳川美術館ボランティアの方より、数枚の招待券を頂き、全体で入場料をお安くすることが出来ました(感謝)

美術館では、特別展『源氏物語の世界—王朝の



恋物語』と題し、国宝の源氏物語絵巻の展示がありました。

成立以来永らく愛読されてきた源氏物

語は、現存する最古のテキストで、最古の絵画作成例でもある国宝「源氏物語絵巻」と共に、鑑賞しました。加えて平安から江戸時代の写本や注釈書、絵画作品などが、一堂に展示してあり、源氏物語愛好の歴史を振り返ることが出来、大変、素晴らしかったです。

蓬左文庫では、尾張徳川家最後の殿様、14代慶勝の企画展を見てきました。激動の幕末・維新を生き抜いた知られざる決断と、転換の時代を探る展示。写真家大名とも呼ばれた慶勝の、時代を捉えた多くの写真の中から、名古屋城を中心に公開されていました。

この時代の殿様の趣味としては、大変高尚な物だった様に思います。今では誰もが、デジカメで写真を撮れる様になりましたが、それだけに、映像に緊張感が少なくなったと感じるのは、私だけでしょうか。

その他、美術館関連の映像と源氏物語絵巻の映像もあり、決められた時間の中では、十分に堪能できない方もみえた様でしたが、次の予定もあり退館しました。

隣の徳川園では、紅々と燃えるような紅葉と、こも巻き、雪囲いといった冬の準備の施しに、この時季ならではの庭園の姿を見ることが出来ました。その後、市バスにて、栄の昼食会場へ急ぎました。

移動で気忙しい一日でしたが、ゆったりとした部屋と美味しい昼食で話も弾み、和やかなランチタイムとなりました。

ご参加頂きました会員の皆様、有り難うございました。次回も楽しい企画を計画したいと思いますので、是非ご参加下さい。

(日比野中学校区、世話役一同)



大宝クリーンキャンペーンに参加して

29期 国際B 榊原 千代子

12月8日(土)年末恒例の“大宝学区自主クリーンキャンペーン”に熱田鯨城会から25名が参加しました。西町公園に10時集合。熱田区長、学区連絡協議会会長の挨拶のあと清掃開始です。船方線をコジマ前交差点～日比野交差点方向へ、日比野交差点～江川線を西郊通り交差点へ。学区の皆様と両歩道に別れゴミをひろいました。途中、地域ゴミゼロの啓発、ペットの適正な飼い方の啓発普及をアピールしながら、清掃開始から約1時間、ゴールはコミセンです。コミセンでは女性保険環境委員の皆様から、おにぎりとお肉汁を用意していただき、冷えた体がほっこり温まったところで解散となりました。

お疲れ様でした。

ごちそうさまでした。



区会説明会 (来たれ新しい仲間!! 熱田鯨城会へ)

3月の鯨城学園の卒業を間近にした、32期生(2年生)を対象にし、区鯨城会の活動、実態等への理解を深めていただくため、1月25日(金)に学園において区鯨城会による区会説明会が実施されました。



熱田鯨城会は7階のボランティアセンターにおいて、区鯨城会から役員が5名参加し、32期生は在籍者16名の内、出席者は7名という状況の説明会でした。

今回の区会説明会は全体時間が45分という制約の中で行なわれ、区鯨城会役員の紹介の後に32期生の簡単な自己紹介が行なわれました。

その後に熱田鯨城会より1名でも多くの学園生の鯨城会入会の実現を図るため、区会活動の目的、活動方針、区会行事、親睦会、ボランティア活動並びに同好会(サークル)活動の概要について説明がなされた。

また、鯨城会入会に伴う費用負担(入会金・年会費)等に関しても大切な事柄ですので、参加者に対し具体的な金額提示がなされた。

更に、今後の鯨城会入会までの流れについて解りやすく説明があり、まずは入会申込日が専攻学科単位で2月15日又は2月20日の両日に受けられる。

最後に参加者との質疑応答を経て、32期生が鯨城会活動を広く理解するため、同好会活動への問い合わせ、参加や2月の企画行事であるボッチャ大会への積極的な参加を熱く呼びかけた区会説明会でした。

新年懇親会が和やかに開催



熱田鯨城会恒例の新年懇親会が1月18日(金)

午後、賀城園で開催されました。

懇親会には41名の会員が参加し、玉利会長の今年も会員相互のつながり、絆づくりをとのあいさつもそこそこに乾杯をかわし、懇親会へと進みました。

お神酒がまわるとともに、小粥さん率いる銭太鼓、柴田(泰)さん・小山田さん仕切るカラオケへと進み、最後に昨年「8020(80歳で20本以上の歯を残して元気なシルバー生活を目指す運動)」で表彰された服部さん(20期)の詩吟が披露され、和やかなうちに終了しました。



(編集部)



～ ボッチャ交流会 ～

冷たい雨が朝から降り続けている2月19日(火)、区役所6階の熱田区社会福祉協議会の研修室において、熱田鯨城会のボッチャ交流会が開催されました。

参加者は20名(男性13名、女性7名)でした。今回は鯨城会員は勿論のこと、鯨城学園生(2年生・1年生)の皆さんにも声をかけましたが、講座受講並びにクラブ履修等の関係もあり参加はありませんでした。ボッチャ競技未経験の方、初心者も参加されておりました。



大変バラエティーのある顔ぶれでした。

今回の交流会開催に際しては、熱田区社会福祉協議会 飯田直美さんの全面協力を受けつつ、さらに地域福祉活動計画 Bグループのボッチャ競技のベテラン審判の小松崎勝己さんの、解り易くユーモア溢れる楽しい競技ルール指導の下、頭とからだの硬くてぎこちのない部分をほぐしながら競技に向き合っていました。

まずは1チームの編成人員は3名。今回の交流会の目的は鯨城会の今後の地域活性活動への新しい基盤づくりを、簡単なルールでしかも十分に楽しく学び、友達の輪作りができる「ボッチャ競技」の推進を図るものでした。

外降る雨の寒さとは好対象に試合は熱戦、珍プレー、思いもよらないプロ選手級の技が出現する等、大いに会場が和んだ一刻でした。

各チーム2試合のリーグ戦を実施、プレーをしながら「簡単な競技ルールと審判をまなび」さらに「白玉にうまく近づける方法等」を勉強。

そのあとは「トーナメント戦」を実施。見事な好成績を収められたのは次のチームです。皆さんお疲れ様でした。

※優勝チーム：チーム⑤(石田 弘・伊藤 正人・佐々木真理子)

※準優勝チーム：チーム⑦(高木 治夫・九澤 康雄・甲斐 明美)

※第三位チーム：チーム①(下木 要人・阿知波健雄・小島 里子)



編集部

幕が上がる。耳元でT先生の声が甦る。

『スタートの定位置は、舞台真ん中少し手前、オレンジ色ライトまでよ』。

両手をゆるやかに前にさし出し、バレエシューズにグッと力を入れる。軽やかに、軽やかに、オレンジ色のライトを目指す。

舞台への入場の仕方を、幾度インターネットで調べたことか。困難なステップはできない。が、入場する時くらい精一杯美しく……。

華甲を過ぎてから始めたバレエ。

一度舞台に立ちたい。少女の頃からの夢が、今、叶おうとしている。

二十人の、家族と友人たちが客席で目を凝らし、舞台の私を見つめてくれる。

夫、遠方からの娘、二男。絵の先生、以前の職場仲間。短歌の友。近所の仲良し友達等。私の人生最初で最後のチャレンジをみんなが応援してくれる。だから頑張れたレッスン。

入会時から懇切丁寧に教えてくれたAさん。膝を痛めるから爪先と膝は同じ位置にね。舞台に立ちたいなら、早めに先生に伝える事よ。

グッと両手を握り締め、T先生に歩み寄る。「一度、舞台に立ちたいです。ずっと夢でした」「舞台に立ちたい？ 一人でも踊る？」

先生は私の目を真っ直ぐに見つめた。ここで怯んだら夢を叶えられない。

「やります。一人ででも踊ります」握り締めた掌に、爪が深く食い込んだ。

オッフェンバッハの曲を五人で踊ることになる。レッスンは始まる。スタートは片膝立ちをし、右足は前方に出す。左足は後ろに引く。左手は肘を曲げ、軽く胸の中央に当てる。右手は軽く肘を曲げ、顔より上に挙げて右斜め前方に出す。音楽の流れに乗り、立ち上がり、両手を頭上に挙げ、爪先立ち近い足でクルッと一回転。途中、ワルツステップも入る。

他の四人が各振りをする間、下手近くで一定のポーズをとり、待機。これが長い。何の振りもせず、ただ待つのがいかに大変か。

顎を引き、胸を張り、背筋を伸ばす。左足の爪先をできる限り外に開き、右足は後ろに引き、爪先を床に斜めに立てる。この姿勢で数分間立ったまま。「磯部さん。フラフラしない！」先生の怒声が飛ぶ。いつもは優しい声が、厳しい。

還暦を過ぎての挑戦。筋肉は落ち、脚力が無い。少々のウォーキングくらいで、すぐに筋肉がつかはずはない。

どうしたら良い？ そうだ。庭でバラの水やりの時に、片足立ちをし、ホースを握ろう。心の中で数える。1、2、3…。ポーズをとったまま立ち尽くすこと、数分。わずかな時間が何と長いことか。

水流にできる虹に見とれている余裕はない。フラフラして来る。足を変える。1、2、3……。花の水やりは30分。毎日、毎日、片足立ちポーズをとりホースを握る。

公演は8月。暑い。脚力はつくのだろうか。……延びた。昨日より、ふらつく時間が少なくなった。

5秒、10秒…。僅かずつ延びていく。

ワルツステップは、軽く、軽やかに。先生の細やかな指導。共に踊る四人の仲間達も、何度も教えてくれる。はい、ここで、クルッとまわって。もっと早く、サッと。もう少し、もう少し。うん、うん良くなった。もうひと頑張り。みんなの応援がどれほど嬉しい事か。

レッスンの様子をビデオに撮影してもらい、家で何度もパ（フランス語一ステップ）を練習する。汗だくの練習の日々。公演まで二カ月を切った。パも覚え、ずいぶん滑らかに動けるようになる。



ところが、5月の終わりの事。バレエ団の創設者S先生の追悼公演の振りに入ります、と先生。えっ？ もう一つ覚える！？

「全員出演ですか？」「勿論。振付は簡単だから」先生はこともなげに仰る。ただでさえ、頭脳と体がついていかない。この上、更にもうひとつ覚えなくてはならぬ？ 脇の下を冷や汗が流れた。

新しい振りは、一つタイミングを間違えると、皆が後ろを向いた時に顔が鉢合わせ。ミスは一目瞭然である。レッスン場はまだいい。

公演会場の名古屋市芸術創造センターでは、小学生を含む全員の通し稽古。保護者の見学がある。「がんばって」保護者席から声援が飛ぶ。顔が赤くなる。「はい、クルッと回って…」あ、できた！ 拍手が沸く。

そして、当日。

午前のリハの折、違う！と、名指しでK先生の注意。落ち込んでいる場合ではない。数時間後には本番が待つ。

藤色のオペラ・チュチュを纏う。中央にアメジストをつけた、同色のサテンリボンが首元を飾る。キュッとシニヨンにまとめた髪には紫の小花。爪にバラのネイルアート。

出番は2番目。舞台そでで待つ。冷房は十分にきいている。が、握りしめた掌が汗ばむ。額に汗が浮く。大変。バレエ舞台用特殊メイクが落ちる。衣装で隠れる箇所以外は、背中も腕も、仲間と化粧を塗りあった。

さあ、始まる。人生最初で最後の瞬間が。少女の頃からの夢が、今、叶おうとしている。友人達には衣装の色を伝えなかった。が、私の洋梨体形ですぐにわかったらしい。友人達は早々に駆けつけ、娘は長野から来ていた。

まばゆいライト。スタート。オレンジ色のライトをめざす。

自分の振りが無い時は、客席奥の非常口の明かりが目に入る。前列中央の人はグレイの服。顔は暗くて判明しない。後で、開場一時間以上も前から並んで待った友と知る。

意外に冷静な自身に驚く。スマイル、スマイル。パは稚拙でも、笑顔はつくれる。

磯部さんの笑顔良かったよ、と後で仲間が話してくれる。

さあ、ポーズを取って、立ち尽くす振り。花の水やり時に鍛えた脚力の成果の見せ所。うん、大丈夫。フラフラしない。

センターの私に4人が両側から手を差し伸べるラスト。……終わった……。

舞台がはねた後、楽屋に届く贈り物。花籠、赤いバラの花束。手作りのケーキ等々。友人たちの温かい心。「磯部軍団が席を占領したから、立ち見の人多かった。花も運ぶの大変だった」と、口を尖らせつつも、友の瞳は笑っている。磯部さんの笑顔良かった、と友。

衣装を脱ぐ。もう2度と着ることのない藤色のチュチュ。……私の夢を纏わせてくれた。

…首のリボンをほどき、メイクを落とす…。

人生はチャレンジ。いくつになっても、挑戦。努力すれば、夢は必ず叶う。



「健康麻雀同好会」



最近、女性に人気の麻雀の同好会です。麻雀初心者の方でも参加できます。丁寧に指導します。

開催は、毎月第一水曜日 10:00~16:30。会場は、「麻雀荘 キャッスル」(中区金山3丁目12-17) 今後の開催日は3月6日、4月3日、5月1日、6月5日、7月3日、8月7日です。毎回3~4卓の会員の輪が出来ます。



今年1月に32回の開催を重ね、延べ348名の方に参加頂きました。参加費は女性・男性ともに、一回1,000円です(昼食は持参)。とにかく楽しい麻雀会です。



毎回メールで開催案内をしています。

当日、会場「麻雀荘 キャッスル」に、お越しください。

不明点は(090-9449-3330 阿知波)までお問い合わせ下さい。

「ハイキング同好会」



ハイキング同好会は、季節の良い時期に、年7~8回、色々なハイキングコースを歩いています。昨年4月荒子川満開の桜、5月津島公園の藤、6月茶屋ヶ坂公園の紫陽花、8月古川美術館、10月名古屋七福神巡り(前半の部)、12月名古屋七福神巡り(後半の部)、2月名古屋城本丸御殿と梅林に行ってきました。楽しく歩いて、おいしい昼食を頂く事がモットーの会です。



開催予定については、熱田鯉城役員会、又はメール等でお知らせします。健康維持のためには、絶好の会です。是非ご参加下さい。

問合せは090-8540-4058 小粥まで

「ゴルフ同好会」



ゴルフ同好会は開始4年目。年に6回程度、各地のコースに出かけています。昨年から、鯉城16区会ゴルフコンペにも参加しております。最近行ったコースは、小萱チェリークリークカントリー、

ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場、
ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ場、四日市の里ゴルフクラブです。
健康に楽しくがモットーの会です。

熱田鯉城会では、ゴルフ同好会登録者が少なく、参加者を募集しています。

鯉城現役生の入会もOKです。特に女性のゴルフ愛好者の方、歓迎します。

問合せは090-8131-4440 高木まで



「熱田・歌声会同好会」

あらゆる歌唱曲を楽器の伴奏で合唱して楽しむことを活動の柱として、
 会員相互の生きがいづくりと親睦を深めることとしています。
 現在、新人会員募集中で、随時見学歓迎です。開催日に直接お出でください。
 現役生もお待ちしています。

開催日時 毎月第1・第3月曜日 午後2時30分～午後4時
 開催場所 熱田福祉会館（要福祉会館利用証）
 会費 3ヵ月毎に1000円
 歌集 無料（熱田福祉会館の歌集を使用）
 ギター伴奏者 毛利 公さん



世話人 寺田 美代子（携帯） 090-5000-0345
 村瀬 順子（携帯） 090-3384-0415

「熱田鯉城会グラウンド・ゴルフ同好会」

熱田鯉城会グラウンド・ゴルフ同好会では会員の募集を行っています。
 一度見学に来て一緒にプレーして見ませんか。はじめての方でも楽しくプレーできます。
 現在会員は10名で練習に励んでいます。
 鯉城会主催の第18回グラウンド・ゴルフ交歓会（2019年10月21日（月））にも参加を予定して
 います。2018年開催の第17回グラウンド・ゴルフ交歓会の個人戦では鬼頭さんが2位に入賞し、
 16区区対抗戦では熱田鯉城会は3位に入賞しました。
 練習時間は午後1時30分から約1時間、練習後は喫茶店で反省会です。



2019年度練習予定日は下記の通り

2019年	4月5日(金)	19日(金)	2019年	10月4日(金)	18日(金)
	5月7日(火)	20日(月)		11月5日(火)	20日(水)
	6月4日(火)	20日(木)		12月5日(木)	——
	7月5日(金)	——	2020年	1月 ——	20日(月)
	8月 夏休み			2月5日(水)	20日(木)
	9月5日(木)	20日(金)		3月5日(木)	19日(木)

練習場所は熱田区西町
 公園（日比野中学校西）
 です。
 練習は月2回5日と20
 日を基準に土、日、祝日
 は避け予定を組みます。

連絡先 櫻井 健 電話 052-671-2782

「M(ムービー)&L(ランチ)同好会」

特徴は、会費も出欠席の返事も要らない。
 PCや携帯アドレスさえ登録すれば、幹事がメールでお知らせします。
 どちらもない方は、ハガキ代一年分が要ります。
 私は、二ヶ月に一度の映画鑑賞日が待ち遠しいです。
 M&L同好会会員の銀幕ファンも約20人の方々がいらっしゃいます。
 他区鯉城会には、この企画は無いかと思われそうですが…。M&L同好会の企画に自負しています。
 立ち上げた者として、いつまでも続くことを願っています。
 映画はテレビと違って、映画館での大きなスクリーンは迫力が味わえます。
 映画物語の別世界へと誘われ、空想を描き心が入り込みます。
 そして、余韻を楽しむ堪能するのです。まさに映画の醍醐味です。
 映画を観終われば、楽しいランチタイムです。
 そこで、映画パンフレットから皆さんで選び次回の映画を決めます。
 銀幕ファンの皆さん、一緒に映画を観て楽しみを感じましょう!!



幹事 石塚紀夫 松村 紀子
 鈴木 稔 榊原佳代子

